

エコアクション21

環境活動レポート

◆目次

項目	ページ
表紙	1
環境方針	2
事業活動の概要	3
環境目標とその実績	4
環境活動計画の取組結果の評価	5
環境活動計画の次年度の取組内容	6
環境関連法規への違反、訴訟の有無	7
環境活動計画の取組に対する代表者の評価	8

*** 取りまとめ期間 2020年6月～2022年5月 ***

中期計画最1年目



更新年月日：2021年6月20日

ミドリ千厩工業株式会社

◆環境方針

環境経営方針

ミドリ千厩工業株式会社はミドリ安全株式会社グループの一員として、地球環境保全が地球全体のため最重要課題であると認識し、事業活動のすべての領域において、地球環境の保全の向上に配慮し行動します。

環境理念

ミドリ千厩工業株式会社は以下の事を約束する。

- (1) 自らの事業活動にふさわしく、その事業のもたらす環境負荷を低減するための適切な環境管理活動を行う。
- (2) 環境関連の法規制および当社が認めるその他要求事項を遵守する。
- (3) エコアクション21環境経営システムを構築し、継続的な改善を行う。
- (4) 継続的な改善を確かなものにするため、環境教育を行う。

行動指針

ミドリ千厩工業株式会社は事業活動において以下の事を実行する。

- (1) 製造工程で使用する電気消費量の削減に取り組みます。
- (2) 製造工程で使用する原材料の削減に取り組みます。
- (3) 製造工程で排出されるゴミの削減に取り組みます。
- (4) 事業所で排出される廃棄物の分別を徹底し、3R（抑制・再使用・再利用）に取り組みます。
- (5) 事業所で使用する水使用料の削減に取り組みます。
- (6) 製造工程で使用する化学物質の適正管理に取り組みます。
- (7) 事業所で使用する事務用消耗品のグリーン購入に努めます。
- (8) 地域貢献として工場周辺の清掃活動に取り組みます。

環境経営マニュアル

*2004年1月31日—制定

*2021年5月21日—第5版

◆事業活動の概要

当社は、労働安全衛生用品を生産・販売するミドリ安全グループのフットウェア生産工場としてミドリ安全より受注し、製品を納入している。当社はミドリ安全グループ環境方針に基づき、自らの事業活動に伴う環境影響を管理するとともに、自社に関わるグループの環境目的・目標に従って、継続的改善活動を行う。尚、ミドリ安全様はISO14001を取得し、グループ組織に対しての環境管理活動も行っている。

- ① 事業名： ミドリ千厩工業株式会社（工場長 天笠 貴之）
環境経営システムの代表（工場長 天笠 貴之）
- ② 所在地： 〒029-0803 岩手県一関市千厩町千厩字下駒場128-4
- ③ 環境保全関係の責任者：天笠 貴之（工場長）
環境保全関係の正担当者：安倍 周（総務課）
環境保全関係の副担当者：永澤 元太（TPS事務局）
環境保全担当者連絡先：電話 0191-52-4101 FAX0191-52-5121

④事業の内容

1. 靴の製造
2. 皮革製品の製造
3. 前項に付帯する事業

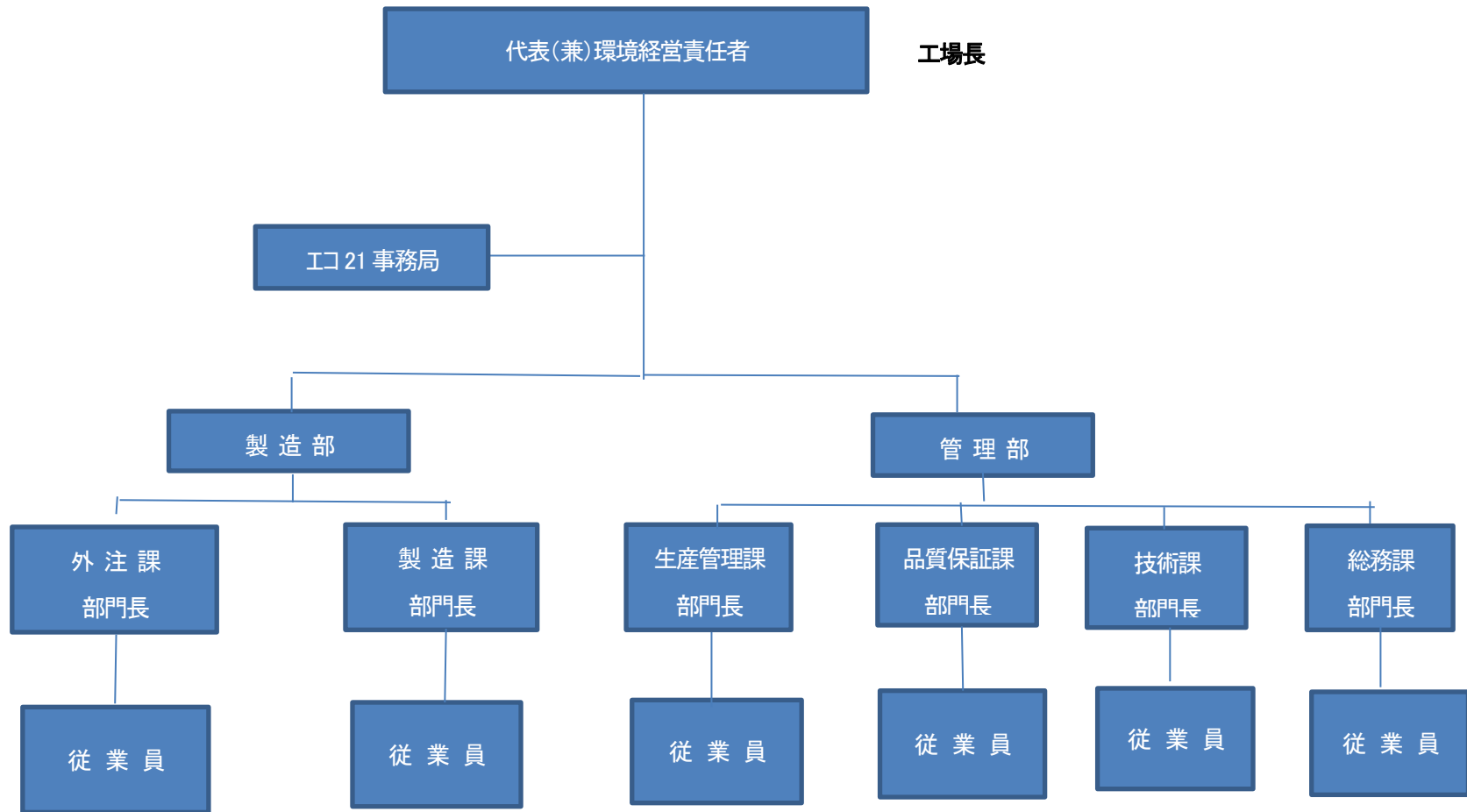
⑤事業の規模（右記参照）

活 動 規 模	2018年度	2019年度	2020年度
従 業 員 数	83人	84人	85人
建 物 総 床 面 積	3,080㎡	3,080㎡	3,080㎡
敷 地 面 積	8,248㎡	8,248㎡	8,248㎡
建 物 戸 数	4棟	4棟	4棟

⑥環境活動対象範囲

「全活動・全組織」

⑦エコアクション 21 実施体制図



◆環境目標とその実績

当社における2019年度の実績を基準に、2020年度から2022年度までの目標を下記の通り設定した。

---中期目標の設定－3ヶ年計画 --- *環境方針においての原材料の削減量は廃棄物排出量に含まれる。

項目	単位	中期目標（2019年度実績に対し毎年1%減）			
		2019年度実績	2020年度目標	2021年度目標	2022年度目標
エネルギー総投入量	MJ/足	31.95	31.63	31.31	30.99
二酸化炭素排出量	kg-Co2/足	1.80	1.78	1.76	1.75
廃棄物総排出量	g/足	261.72	259.10	256.49	253.87
廃棄物最終処分量	g/足	65.37	64.72	64.06	63.41
水資源投入量	ℓ/人	1391.90	1377.98	1364.06	1350.14
化学物質揮発量	g/足	6.35	6.29	6.22	6.16

2020年度実績---2020/6~2021/5

自社評価基準 ○=100%以上 △=90%~99% ×=0~89%

項目	単位	2018年度	2019年度	2020年度の結果			
		実績	実績	目標	実績	達成率	評価
エネルギー総投入量	MJ/足	31.22	31.95	31.63	35.05	90.24%	△
二酸化炭素排出量	kg-Co2/足	1.78	1.80	1.78	1.99	93.68%	△
廃棄物総排出量	g/足	218.64	261.72	259.10	265.84	97.46%	△
廃棄物最終処分量	g/足	41.50	65.37	64.72	68.64	94.29%	△
水資源投入量	ℓ/人	1027.30	1391.9	1377.98	960.0	143.53%	○
化学物質揮発量	g/足	5.07	6.35	6.29	2.68	234.70%	○

R2年12月年度分環境省報道発表資料 東北電力・実排出係数0.479kg/Co2・Kwh 生産足数：439,413足

主な負荷実績

	2018	2019	2020
二酸化炭素発生量 (kg-Co2)	954,265	965,748	858,928
電力使用量 (MWh)	1,609	1,623	1,398
重油使用量 (KL)	19,000	22,000	28,000
産業廃棄物排出量	71,531	44,260	43,720
水使用量	1,017	1,378	985

◆環境活動計画の取組内容と評価

環境負荷の低減目標達成のため、下記のような具体的活動に取り組みを実施しました。

No.	実施計画項目	取組内容	実施内容
1	総エネルギー投入量の削減	① 空調温度設定の徹底管理 ② 製造設備の効率化	① 空調温度設定夏期 28℃冬期 18℃の徹底 ② 不在・未使用箇所の消灯を徹底
2	温室効果ガス排出量の削減	③ アイドリングの排除 ④ 電気器具の省エネ推進	③ 従業員への朝礼等での意識付徹底 ④ 電気・電子機器の省エネ化への切替
3	水資源投入量の削減	①トイレの節水の徹底 ②各水道場の節水の徹底 ③従業員の家族単位での活動推進	①元栓の減水調整を実施 ②配管の老朽化のチェックを実施 ③全体朝礼で意識付けを実施
4	廃棄物総排出量の削減	①製造ラインでの廃棄物低減の徹底 ②歩留管理の徹底と工程不良の削減	①分別の徹底と廃棄物量の把握を意識付け ②改善活動での全社単位で取組
5	廃棄物最終処分量の削減	③廃棄物のリサイクル化 ④リサイクル率の向上	③プラスチック類のリサイクル先の選定 ④同上
6	化学物質の管理改善	①環境負荷の少ない代替物質への切り替を本社に依頼	①各種インターネットや業者を通じて代替物質の情報を本社へ提供し検討を依頼
7	グリーン調達推進	①エコマーク商品購入の拡大 ②不要事務用品の購入を抑制	①廃棄用紙の分別リサイクル化の実施 ②無駄な事務在庫は持たない
8	環境保全意識の向上	①全従業員への意識向上の徹底 ②関連他社等の観察	①全体朝礼で意識付けの徹底 ②エコ関係者会議の積極参加

2021年度ミドリ千厩工業株式会社 環境活動実施計画

No.	環境活動実施計画目標項目	管理項目	活動目標値	環境目標達成のための取組内容
1	総エネルギー投入量の削減	生産足数当り	中期目標 2020年度 2019年度実績の ▲1% 2021年度 2020年度実績の ▲1% 2022年度 2021年度実績の ▲1%	(1) 空調温度設定の夏季28℃、冬季18℃を徹底管理して、空調設備の効果的運用を図る。⇒フィルターの確実な1回/月の洗浄⇒冷暖房設備の効率アップ
2	温室効果ガス排出量の削減	生産足数当り		(2) 設備の稼働率アップ及び実なし生産排除によるムダな消費電力の低減
3	水資源投入量の削減	生産足数当り		(3) 協力工場、出入り業者、運送業者を巻き込んだ、自動車のアイドリング、急発進等の徹底した排除⇒社員の家族にも活動を協力依頼推進 (4) 工場内エアコン省エネタイプへの更新推進
4	廃棄物総排出量の削減	生産足数当り		(1) 水洗トイレの節水の徹底継続
5	廃棄物最終処分量の削減			(2) 各水場における節水の徹底継続⇒必要以上に蛇口を開けない。 (3) 社員の家族にも活動を協力依頼推進
6	化学物質使用量及び管理	生産足数当り		(1) 製造プロセスで発生する廃棄物低減の徹底した継続活動 (2) 原材料の歩留まり管理の徹底⇒外注先を巻きこんだ活動の推進 (3) 購入及び廃棄物は常に「3Rを考えた活動の推進しムダをなくす」 (4) 紙類を含む廃棄物の徹底した分別による、リサイクル率の向上
7	グリーン購入の推進			(1) 環境法で定める化学物質の徹底した管理により、使用量を増加させない。⇒歩留まり管理の徹底⇒PRTR対象物質の含有量の少ない材料の開発をメーカーに継続依頼
8	環境保全意識の向上			(1) コピー用紙等の再生紙使用及びエコマーク商品類の購入拡大の継続 (2) グリーン購入商品の購入拡大の継続⇒不要なものは購入しない。
			(1) 全社朝礼及び部門朝礼を効果的に活用し、環境保全活動の重要性の理解と認識を推進する。⇒社員の家族にも理解・認識を推進(2) 関連工場の環境保全活動の積極的な観察及びコミュニケーションの推進 (3) 教育ビデオ等活用した社内勉強会の推進	

*2021年度はこのような実施計画を継続して活動していきます。

◆環境関連法規への違反、訴訟の有無

2021年3月(2020年度活動分)に「法遵守チェック表」により監査した結果、法規違反が無い事を確認しました。又、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年ありません。

項目	2018年度	2019年度	2020年度
法遵守チェック	2019/3	2020/3	2021/3
法規違反	違反無し	違反無し	違反無し
行政指摘	指摘無し	指摘無し	指摘無し

以上

◆環境活動計画の取組に対する代表者の評価

環境負荷の低減目標達成のための具体的活動に取り組んだ結果について代表者が評価を行いました。

***代表者による全体評価と見直しより抜粋**

今期は中期三ヵ年計画の1期目の年となり、2019年度実績を基準とし△1%減という目標値であるが項目により目標を下まわる結果となった。昨年度達成率65%の水資源投入量については、チラー機器の故障による水回路問題で悪化となっていたが、機器入替えにより投入量の削減となり、約144%の達成となった。一方、二酸化炭素排出量については94%と厳しい状況となったが、2019年度に夏季期間の空調用電力として使用している軽油燃料使用の発電機を廃止し、電気に切替える事と老朽空調設備の更新でCO₂の削減を目指し、数年間で順次エアコンの入替を実施し環境負荷の低減を図ります。廃棄物処分量についても94%と未達であった為、ムダなもの（不良含む）は作らない・買わない事を徹底し削減していきます。従業員については、引続き5S活動を中心に見える化を図り、意識付けを行い環境負荷低減活動を推進していきます。
